



平成31年4月26日

各位

上場会社名 株式会社 中央倉庫
 代表者 代表取締役社長 木村 正和
 (コード番号 9319)
 問合せ先責任者 常務取締役企画管理本部長 中村 秀麿
 (TEL 075-313-6151)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表しました平成31年3月期通期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,500	1,700	1,850	1,200	63.08
今回修正予想(B)	26,240	1,530	1,730	820	43.11
増減額(B-A)	△260	△170	△120	△380	
増減率(%)	△1.0	△10.0	△6.5	△31.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	26,043	1,616	1,791	1,254	65.95

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,500	1,520	1,680	1,100	57.83
今回修正予想(B)	26,270	1,410	1,610	745	39.16
増減額(B-A)	△230	△110	△70	△355	
増減率(%)	△0.9	△7.2	△4.2	△32.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	26,072	1,461	1,648	1,226	64.49

修正の理由

通期の業績予想につきまして、営業収益は概ね計画どおりに推移しておりますが、営業利益・経常利益におきましては、倉庫業で新規に取扱う保管貨物に関する費用が先行して発生したことなどにより営業費用が大幅に増加したため、前回予想を下回る見込みとなりました。

また、当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)におきましては、梅小路地区の資産有効活用計画に係る費用として一部既存倉庫設備の減損損失および解体工事費用を特別損失に計上することに加え、保有株式に係る投資有価証券評価損を計上することなどから、前回予想を下回る見込みとなりました。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上